



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 常陽銀行

コード番号 8333 URL <http://www.ioyobank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 寺門 一義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 笹島 律夫

TEL 029-300-2604

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	115,065	△1.0	29,105	13.5	18,997	41.7
24年3月期第3四半期	116,322	△1.7	25,630	2.9	13,404	△19.4

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 26,419百万円 (272.5%) 24年3月期第3四半期 7,091百万円 (△35.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.07	25.06
24年3月期第3四半期	17.47	17.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,189,157	463,165	5.6
24年3月期	8,005,275	446,615	5.5

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 460,658百万円 24年3月期 444,333百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—		
25年3月期(予想)				4.50	8.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	0.5	21,000	15.7	27.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

・法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	799,231,875 株	24年3月期	810,231,875 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	48,426,530 株	24年3月期	49,370,258 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	757,593,459 株	24年3月期3Q	766,872,377 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 平成24年度 第3四半期決算説明資料	8
(1) 損益の状況【単体】	8
(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示【単体】	10
(3) 自己資本比率（国内基準）【連結・単体】	10
(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】	11
(5) 貸出金・預金・預り資産の状況【単体】	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)における経常収益は、預り資産販売を中心とする役務取引等収益が増加したものの、貸出金利息の減少等による資金運用収益の減少を主因に、前年同期比12億円減少し1,150億円となりました。

経常費用は、預金利息の減少等による資金調達費用の減少や信用コストの減少、営業経費の削減を主因に、前年同期比47億円減少し859億円となりました。

以上により、経常利益は、前年同期比34億円増加し291億円となりました。四半期純利益は、前年同期比55億円増加し189億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末(平成24年12月末)の総資産は、現金預け金が減少したものの、有価証券や貸出金の増加等により、24年3月末比1,838億円増加し8兆1,891億円となりました。

負債は、預金や債券貸借取引受入担保金の増加等により、24年3月末比1,673億円増加し7兆7,259億円となりました。

純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により、24年3月末比165億円増加し4,631億円となりました。

自己資本比率(国内基準)は連結ベースで13.20%、うちTier1比率は12.56%、常陽銀行単体の自己資本比率は12.79%、うちTier1比率は12.28%となり、引続き高い水準にあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当行及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ51百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
現金預け金	385,528	325,741
コールローン及び買入手形	3,385	865
買入金銭債権	33,714	29,673
特定取引資産	3,776	2,628
有価証券	2,458,416	2,600,155
貸出金	4,952,771	5,058,612
外国為替	1,757	3,049
リース債権及びリース投資資産	28,494	30,379
その他資産	55,058	60,991
有形固定資産	92,957	93,213
無形固定資産	8,247	8,717
繰延税金資産	13,892	7,797
支払承諾見返	18,293	17,297
貸倒引当金	△50,706	△49,931
投資損失引当金	△311	△35
資産の部合計	8,005,275	8,189,157
負債の部		
預金	7,257,856	7,328,728
譲渡性預金	19,852	9,452
コールマネー及び売渡手形	17,561	39,491
債券貸借取引受入担保金	38,888	77,330
特定取引負債	192	182
借入金	99,309	118,662
外国為替	238	175
社債	15,000	15,000
信託勘定借	16	22
その他負債	68,211	96,646
役員賞与引当金	46	—
退職給付引当金	5,224	5,307
役員退職慰労引当金	26	29
睡眠預金払戻損失引当金	1,711	1,634
ポイント引当金	137	141
利息返還損失引当金	10	10
偶発損失引当金	1,740	1,688
特別法上の引当金	1	1
再評価に係る繰延税金負債	12,050	12,016
負ののれん	2,291	2,172
支払承諾	18,293	17,297
負債の部合計	7,558,660	7,725,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
資本金	85,113	85,113
資本剰余金	58,574	58,574
利益剰余金	275,598	283,105
自己株式	△24,913	△23,287
株主資本合計	394,371	403,505
その他有価証券評価差額金	40,214	47,456
繰延ヘッジ損益	△2,705	△2,722
土地再評価差額金	12,452	12,419
その他の包括利益累計額合計	49,961	57,153
新株予約権	81	110
少数株主持分	2,201	2,396
純資産の部合計	446,615	463,165
負債及び純資産の部合計	8,005,275	8,189,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	116,322	115,065
資金運用収益	77,323	75,058
(うち貸出金利息)	57,781	54,901
(うち有価証券利息配当金)	18,564	19,349
信託報酬	29	28
役務取引等収益	16,551	17,795
特定取引収益	404	651
その他業務収益	5,979	5,405
その他経常収益	16,033	16,127
経常費用	90,691	85,960
資金調達費用	4,794	4,041
(うち預金利息)	3,347	2,675
役務取引等費用	5,309	5,235
その他業務費用	117	543
営業経費	54,225	53,977
その他経常費用	26,243	22,162
経常利益	25,630	29,105
特別利益	—	5
固定資産処分益	—	5
特別損失	998	568
固定資産処分損	257	375
減損損失	740	192
金融商品取引責任準備金繰入額	0	—
税金等調整前四半期純利益	24,632	28,542
法人税、住民税及び事業税	5,318	7,397
法人税等調整額	5,667	1,950
法人税等合計	10,986	9,348
少数株主損益調整前四半期純利益	13,645	19,193
少数株主利益	241	196
四半期純利益	13,404	18,997

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,645	19,193
その他の包括利益	△6,554	7,226
その他有価証券評価差額金	△7,795	7,243
繰延ヘッジ損益	△489	△17
土地再評価差額金	1,730	—
四半期包括利益	7,091	26,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,850	26,222
少数株主に係る四半期包括利益	240	197

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当ありません。

4. 平成24年度 第3四半期決算説明資料

(1) 損益の状況【単体】

・貸出金利回りの低下により資金利益は減少したものの、預り資産販売を中心とした役務取引等利益の増加や信用コストの改善等により、業務純益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を上回りました。

業務純益 344億円（前年同期比+24億円）

経常利益 263億円（前年同期比+37億円）

四半期純利益 174億円（前年同期比+50億円）

① 損益の状況【単体】

(単位：百万円、%)

	平成24年度 第3四半期 (9ヶ月間)	平成23年度 第3四半期 (9ヶ月間)	増減	平成24年度	
				予想値	進捗率
業務粗利益	85,987	87,179	△1,192		
資金利益	71,122	72,635	△1,512		
役務取引等利益	9,802	8,457	1,344		
特定取引利益	198	239	△40		
その他業務利益	4,863	5,846	△982		
うち国債等債券損益	4,094	4,998	△903		
経費	52,063	52,000	63		
人件費	26,591	26,235	356		
物件費	22,967	23,262	△294		
税金	2,504	2,502	1		
一般貸倒引当金繰入額 (イ)	△536	3,167	△3,703		
業務純益	34,460	32,012	2,448	44,000	78.3
コア業務純益	29,829	30,181	△351		
臨時損益	△8,160	△9,480	1,320		
うち不良債権処理額 (ロ)	6,349	5,154	1,194		
貸出金償却	2,422	3,506	△1,084		
個別貸倒引当金繰入額	4,648	2,112	2,536		
バルクセール売却損	51	246	△195		
偶発損失引当金繰入額	△45	65	△111		
その他の処理額	769	847	△78		
償却債権取立益	1,497	1,624	△127		
うち株式等関係損益	△1,648	△2,678	1,030		
経常利益	26,300	22,531	3,769	31,000	84.8
特別損益	△480	△523	42		
うち減損損失	112	270	△158		
税引前四半期純利益	25,819	22,008	3,811		
法人税等合計	8,353	9,569	△1,215		
四半期純利益	17,466	12,439	5,027	20,000	87.3
信用コスト (イ)+(ロ)	5,812	8,322	△2,509		

(注) 1. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2. 信用コスト ＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額

② 利鞘【単体】

(単位：%)

	平成 24 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	平成 23 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	増減
(1) 資金運用利回 (A)	1.29	1.39	△0.10
(イ) 貸出金利回	1.45	1.58	△0.13
(ロ) 有価証券利回	1.06	1.09	△0.03
(2) 資金調達原価 (B)	0.99	1.04	△0.05
(イ) 預金等利回	0.04	0.06	△0.02
(ロ) 外部負債利回	0.24	0.56	△0.32
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.30	0.35	△0.05

(参考) 国内業務部門

(単位：%)

	平成 24 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	平成 23 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	増減
(1) 資金運用利回 (A)	1.27	1.35	△0.08
(イ) 貸出金利回	1.45	1.59	△0.14
(ロ) 有価証券利回	1.00	1.03	△0.03
(2) 資金調達原価 (B)	0.98	1.03	△0.05
(イ) 預金等利回	0.04	0.05	△0.01
(ロ) 外部負債利回	0.21	0.56	△0.35
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.29	0.32	△0.03

③ 有価証券関係損益

(単位：百万円)

	平成 24 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	平成 23 年度 第 3 四半期 (9 ヶ月間)	増減
国債等債券損益	4,094	4,998	△903
売却益	4,372	5,055	△682
償還益	265	60	204
売却損	59	1	58
償還損	—	—	—
償却	483	115	367
株式等関係損益	△1,648	△2,678	1,030
売却益	1,178	851	327
売却損	1,258	879	379
償却	1,568	2,650	△1,082

(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示【単体】

・金融再生法ベースの開示額は1,575億円、貸出金等残高に占める比率は3.07%となりました。

(単位：億円、%)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	97	109	△12
危険債権	1,001	1,039	△38
要管理債権	476	479	△3
小計(A)	1,575	1,629	△53
正常債権	49,725	48,950	775
合計(B)	51,301	50,580	721
貸出金等残高に占める比率(A)/(B)	3.07	3.22	△0.15

(参考) リスク管理債権の状況

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
破綻先債権額	16	16	0
延滞債権額	1,080	1,130	△50
3ヶ月以上延滞債権額	15	12	3
貸出条件緩和債権額	460	467	△6
合計	1,574	1,626	△52

(3) 自己資本比率 (国内基準)

・自己資本比率は、連結で13.20%、単体で12.79%となりました。Tier I比率についても、連結、単体ともに12%台と引続き高い水準にあります。

【連結】

(単位：億円、%)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
(1) 自己資本比率	13.20	13.16	0.04
(Tier I比率)	12.56	12.53	0.03
(2) Tier I	3,956	3,900	56
(3) Tier II	320	320	△0
(イ) うち自己資本に計上された有価証券含み益	—	—	—
(ロ) うち自己資本に計上された土地再評価差額	109	110	△0
(ハ) うち劣後ローン残高	204	204	—
(4) 控除項目	120	126	△5
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	4,156	4,094	61
(6) リスク・アセット	31,486	31,110	375
(7) 総所要自己資本額	1,259	1,244	15

【単体】

(単位：億円、%)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
(1) 自己資本比率	12.79	12.76	0.03
(Tier I比率)	12.28	12.26	0.02
(2) Tier I	3,844	3,796	48
(3) Tier II	301	301	△0
(イ) うち自己資本に計上された有価証券含み益	—	—	—
(ロ) うち自己資本に計上された土地再評価差額	97	97	△0
(ハ) うち劣後ローン残高	204	204	—
(4) 控除項目	141	147	△5
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	4,004	3,950	54
(6) リスク・アセット	31,297	30,953	343
(7) 総所要自己資本額	1,251	1,238	13

- (注) 1. 信用リスク・アセットの算出においては基礎的的内部格付手法を採用しております。また、オペレーショナル・リスクの算出においては粗利益配分手法を採用しております。
2. 総所要自己資本額はリスク・アセットに4%を乗じた額であります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・その他有価証券の評価差額は、715億円の評価益となりました。

(単位：億円)

(単位：億円)

	平成24年12月末				平成24年9月末			
	時価	評価差額	うち益		時価	評価差額	うち益	
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	25,695	715	824	109	25,336	539	712	173
株式	1,537	292	385	93	1,391	133	284	151
債券	21,231	333	338	4	21,451	355	358	2
その他	2,926	89	101	11	2,493	50	69	18

- (注) 1. 有価証券のほか、信託受益権も含めております。
2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：億円)

(単位：億円)

	平成24年12月末				平成24年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益		帳簿価額	含み損益	うち益	
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	217	2	2	0	213	2	2	0
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 貸出金・預金・預り資産の状況【単体】

① 貸出金

・貸出金残高は、震災復興支援への積極的な取組みによる法人向け貸出金の増加に加え、住宅ローンも順調に増加したことなどから、24年9月末比689億円増加の5兆902億円となりました。

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
貸出金(未残)	50,902	50,212	689
法人	31,505	31,106	398
個人	11,878	11,679	199
国及び地方公共団体	7,518	7,426	91
貸出金(平残)	50,121	49,907	213

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
消費者ローン残高(未残)	15,496	15,157	338
住宅ローン	10,896	10,667	229
その他のローン	4,599	4,489	109

② 預金

・預金残高は、個人預金を中心に順調に増加し、24年9月末比943億円増加の7兆3,381億円となりました。

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
預金(未残)	73,381	72,437	943
うち個人預金	55,750	54,636	1,114
預金(平残)	72,593	72,791	△197

③ 預り資産

・預り資産残高は、保険残高を中心に順調に増加し、24年9月末比313億円増加の1兆878億円となりました。

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年9月末	増減
投資信託	2,511	2,378	133
外貨預金	655	621	33
国債等	3,323	3,408	△84
保険(保険料収入ベース)	4,388	4,156	231
合計	10,878	10,564	313

以上